



慶應義塾大学ビジネス・スクール

非対称情報下の市場均衡： 情報の経済学

要旨

本稿は 1990 年代までの標準的なミクロ経済学の内容をまとめた数章からなる冊子の一部である。ここでは、取引者間に非対称情報が存在するとき、市場を通じた効率的配分の実現は困難であることを示す。モラルハザードあるいはアドヴァースセクションはそのような状況において発生する基本現象である。本稿では、まずこれらを保険の文脈において確認し、さらに保険市場や就職市場を例として、スクリーニングやシグナリングが次善的取引を実現するための手段としてどのように機能するかを考察する。

本稿は、慶應義塾大学大学院経営管理研究科博士後期課程における「経営科学特論」の講義資料として、渡邊直樹（慶應義塾大学大学院経営管理研究科）によって執筆された。本稿は KBS の出版物であるため、KBS の許可を得ずに本稿を複製、転送、配布することは禁じられている。問い合わせ先：223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1 慶應義塾大学ビジネススクール ケース室, Phone: 045-564-2444, E-Mail: case@kbs.keio.ac.jp Website: <http://www.kbs.keio.ac.jp> Copyright ©渡邊直樹（2018 年 9 月初版作成）